



第35回例会報告 *通算例会回数4105回目* (5月19日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

【 出 席 報 告 】

・会員数 54名 ・出席数 31名 ・欠席数 23名
 ・当日出席率 62.50% ・前々回修正出席率 100%
 <欠席会員>原、平尾、平田、廣川、神道、片山、吉良、小堀、桑森、宮道、中村、西本、大澤、岡本、坂本
 八木(正)、八木(伸)、矢野
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、久米、村上、渡辺(易)
 <4/28 欠席補填>(4/25 今治北)藤田、片山、眞鍋、宮道、大河内、坂本、米北 (4/27 東京)原
 (5/2 今治北)安藤、平田、廣川、神道、小堀、大澤、岡本、八木(正)、山本、矢野

◇**会長挨拶**:成龍酒造株式会社 代表取締役社長 首藤洋(すとうひろし)様のご紹介をさせていただきます。成龍酒造様は西条市周布にて1877年(明治10年)に創業され、「酒は夢と心で造るもの」の理念のもと145年に渡り日本酒を製造されております。冬は酒造り、夏は梅酒造りと奈良漬作りのルーティンでお仕事をされている中、「酒粕仕立ての味噌」作りに取り組むための食品工場新築工事のご縁を頂きました。お会いしている中で、首藤社長様が身体障害者補助犬の育成に携わる『一般社団法人 Dog for Life Japan』の顧問をされており、補助犬を育成するためには最低2年の歳月と約300万円の費用が必要であり、その事を多くの人に知って頂くための普及活動をされている事をお聞きました。そこで今治ロータリークラブの皆さんにもお伝え頂くことをお願いし、代表理事の砂田眞希様とご一緒にお越し頂きました。

◇**幹事報告**

- ・例会終了後、今治商工会議所 3 階研修室にて、次年度第一回定例理事会を開催致しました。
- ・損害保険ジャパン(株)今治中央営業所営業所長小池 忠(こいけ ただし)氏の入会手続きが規定の段階を経て理事会で承認されました。異議のある方は7日以内に申し出てください。

◇**親睦活動委員会・お誕生日スピーチ**

- ・西信正男会員:45歳で今治RCに入会し22年目になります。今後共宜しくお願い致します。

外部卓話

◆一般社団法人 Dog for Life Japan 代表理事 砂田眞希氏

題目:『身体障害者補助犬から考える差別のない社会』

①身体障害者補助犬について…目の不自由な人を助ける盲導犬・手足が不自由な人を助ける介助犬・耳の不自由な人を助ける聴導犬この3種類の犬を総称で補助犬と呼び、補助犬は障害者の身体の一部として、レストランや病院等の様々な場所への受け入れが法律で義務付けられています。日本では盲導犬が約900頭に対し、介助犬・聴導犬は約60頭と数が少なく、認知度の低さがその大きな原因となっているため、当会も啓発活動に尽力しています。

②聴導犬の仕事内容…聴覚障害者は周囲から耳が聴こえない事が判別し辛い為、電車が急に止まった時等に聴導犬の存在が目印となり、文字による情報伝達等の周囲の人達の支援が受け易くなります。また結婚して出産を考えた時、赤ちゃんの泣き声が聞こえない自分に子育てが出来るか自信が持てなかった障害者の方が、聴導犬のサポートを得て安心して出産・子育てが出来た等、聴導犬は生活を便利にするだけでなく、その人の人生を大きく変える存在でもあります。

③最後に…補助犬の育成は寄付で成り立っており、育成後も引退するまで間はアフターフォローが必要となります。育成後の期間には行政の補助がほぼ無く、引退後も必要であれば支援を行うため、頭数を出せば出すほど赤字になってしまいます。日本では行政の仕組み上、介助犬・聴導犬が増えにくい環境になっています。そこで行政からの補助を増やす事を目指すのではなく、民間からの支援の輪を広げる仕組みが必要となります。皆様のご協力・ご支援宜しくお願い致します。

※補助犬には「見つめない・触らない・声を掛けない」の優しい無視のご協力をお願いします。その一方で、連れている[人]には遠慮なく声を掛けて欲しいと思います。

<ゲスト>成龍酒造株式会社 代表取締役社長 首藤 洋様

一般社団法人 Dog for Life Japan 代表理事 砂田 眞希様・訓練犬 エマちゃん



次 回 例 会(5月26日)

【 会 員 卓 話 板 協 会 員 】

<会員誕生日祝> 冠 康秀氏 (5/29) 久米 操氏 (5/30) 木村 敏明氏 (6/1)

<配偶者誕生日祝> 中村 哲也氏 (5/29)

[い わ き]